

佐野市立小中学校適正規模・適正配置基本計画（後期計画）（案） に対する意見募集の結果について

1 パブリック・コメントの概況

(1) 意見募集期間

令和元年7月1日（月）～令和元年7月31日（水） 31日間

(2) 意見提出者等

10歳代	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳以上	団体	記入なし	計
3	3	5	4	4	4	2	9	1	35

(3) 提出方法の内訳

郵送	ファックス	Eメール	直接提出	計
0	0	3	32	35

2 意見の概要と市の考え方

No.	意見の概要	意見に対する市の考え方
後期計画の実施時期について		
1	基本計画（案）には、義務教育学校とは何か、義務教育学校化することのメリット・デメリットの説明がないため、意見が出しにくい。また、まだ先進事例の結果も見えていない段階で全ての小中学校を義務教育学校化することには慎重であるべきだ。小学校統廃合問題から目をそらさせる手段に使っているように感じる。	小中一貫教育については、10 数年以上前から全国で実践され、その実施校のほとんどが学習面や児童生徒指導面等での顕著な成果を認識しております。小中一貫教育の中核となるのは「義務教育9年間を見通した系統性・連続性を確保した教育課程の編成・実施」ですが、これを実施するには、従来の施設が分離されている小中学校で行うのは難しく、それを克服するための方策として、法改正がなされ「義務教育学校」が制度化されました。本市でも小中一貫教育を推進しておりますが「義務教育9年間を見通した系統性・連続性を確保した教育課程の編成・実施」には至っておらず、初めてあそ野学園義務教育学校で実施することになります。本市といたしましては、全国の先行事例や文部科学省の調査結果
2	小中一貫校については、あそ野学園が始まり、それから改良点等を話し合ってから進めてもよいのではないか。統合についてもデメリット等をよく話し合い進めていった方が良く思う。	
3	あそ野学園開校後に、どこを改善	

	<p>したらよいのかなどを考えてからでもよいと思う。</p>	<p>を踏まえ、小中一貫教育をより一層推進する必要があると考え、将来的に全ての小中学校を義務教育学校とする計画を立案いたしました。また、複式学級解消のための小学校同士の統合につきましても、地域の要望を踏まえ、進めていくことも検討しております。</p>
4	<p>4 骨子 計画の時期について。現在の学区を考慮して居住地や家の購入を考える家庭も多いと思われる。義務教育学校へ通学が始まるまで、最低15年の時間の猶予を検討すべきと思う。つまり、決定から実行に移すまで、施設をリフォームしてでも急ぎすぎないようにしてほしい。</p>	<p>進学先を考慮して移住したり住居を購入したりする方もいらっしゃると思いますので、可能な限り早い段階で、義務教育学校の設置予定地をお示ししたいと考えております。設置時期につきましては、施設の老朽化の状況も踏まえ、検討してまいります。</p>
後期計画に対する意見聴取について		
5	<p>5 後期計画を進めるにあたって。大人たちの都合で進めているようなイメージがある。現在の小中学生の意見も聞いてみてはどうか。案が実行される頃には親の世代になっているかもしれない。特に通学距離が長くなること、9年も同じところへ通うことになることについては、子どもたちの声を聞いた方がよいのでは。個人的には1.5km以上歩かせるのは遠いと思う。</p>	<p>児童生徒へのアンケート調査は予定しておりません。国や県の教育に関する動向を見極め、本市の子供たちにとって望ましい教育環境を考え、整備していくことは、私たち大人の責任であると考えております。</p>
6	<p>6 田沼小学校では、あそ野学園に行くか田沼小に残るか、今でもどちらにしたらいいかと悩んでいる親子がいるようだ。特に今の5年生は6年生になるときに修学旅行で全く知らない子と行くのはイヤだという子どもの意見と親の意見が分かれるとのこと。さらにきょうだいがいると高学年の子どもと低学年の子どもでは意見も違ったりするので、困っているとのこと。私たちは意見は言えるが、やはり</p>	<p>義務教育学校の具体的な場所等を示した実施計画についても、可能な限り早い段階で示してまいりたいと考えております。</p>

	<p>決断は早く「こうなります」と言 って決めてほしい。決まったらや らなければいけないし、やってみ なければ何も始まらないと思う。 なので、いろいろなことを早めに 意見を聞いて、早め決断してほし い。</p>	
後期計画の進め方について		
7	<p>具体的な数値やリソースについて の記載がなく、この計画の定性的 な内容だけでは実施の判断に至ら ないのではないか。教育施設の大 型化に伴い、投資が分散するとい う理由から実施できなかったこと が、施設数減少にともない実施で きることも多々あると思われる が、そういった部分についての記 載が無い。一方で、大型化に伴い、 廃校となった施設の使い道や避難 所としての機能をどのようにして いくのかが触れられていない。</p>	<p>後期計画（案）につきましては、本市の教 育環境の方向性を示したものでございま す。各義務教育学校に係る費用等の詳細に つきましては、別に定める実施計画の中 で示してまいります。また、閉校となつた施 設の跡地利用、避難所としての機能につ きましても、実施計画の作成の過程にお いて、市役所内部の関係各課と連携、協議 してまいります。</p>
8	<p>全市的關係部局との取り組みを望 む。特に教育委員会内の生涯学習 課、市民活動促進課、財産活用課 等が地区懇談会に出席がなかつ た。一片の視点でのみ強引な取 組みがなされているように思う。</p>	<p>後期計画（案）については、全市的な問題 として市役所内部でも取り組んでおりま す。計画を検討する庁内検討委員会には多 くの課が参加し、政策調整会議、政策会 議を経て、地区懇談会に臨ませていただ きました。地区懇談会の主催は市教育委員 会であるため、教育委員会内部の者が出 席させていただきましたが、関係各課とは 常に連携を図っております。</p>
施設老朽化への対策		
9	<p>3. 適正規模・適正配置計画のテー マ(2)施設老朽化への対策 耐用年数を超過している建屋につ いては、子供達の安全性確保のため にも早急に対応することが必要 と考える。また、学校は有事の際 の避難場所にも設定されており、 その機能を担保するためにも検討</p>	<p>学校施設の老朽化は深刻な部分もあり、御 指摘いただいたとおり、早急に検討を進め る必要があると認識しております。ま た、義務教育学校の設置のための財源の確 保につきましても、国の補助金や地方債の 活用などの財源と併せて、整備手法も含め て検討してまいりたいと考えております。</p>

	は早急に行う必要がある。建設にかかわるキャッシュアウトについては、入札などを厳格に行い削減すると共に、キャッシュインの不足については、ふるさと納税やクラウドファンディングなどの制度などを積極的に活用すべき。	
1 0	「施設老朽化への対策」について、最近地震などが多く、今後大きな地震も考えられるので、いざという時に子どもたちがいる場所がしっかりとしていないと不安になると思う。対応してもらおうことで、子どもたちも保護者も安心できると思う。	学校の耐震化率は 100%となっておりますが、施設の老朽化による影響は懸念されますので、可能な限り早く進めることができると考えております。しかし、計画期間は 25 年間と長いため、その間に対応すべき改修部分がでてきた場合には、対策を実施し、児童生徒の安全確保の徹底を図ってまいります。
1 1	3(2)施設老朽化への対策として、耐用年数を超えているものは計画を待たずに検査・改修が必要と考えるが、どのような処置を行う予定か。	学校の個別施設改修計画を策定し、施設の長寿命化対策に取り組む中で、改修が必要な部分が出た場合には、義務教育学校の設置を待たずに老朽化への対応を行ってまいります。
義務教育学校の学年区分、行事等について		
1 2	9 年間は長い。児童生徒の発達段階に応じて、適切な区切りを設けて、成長の度合いを評価、伝え、ほめ、伸ばす工夫を取り入れてほしい。これまでのような小学校の卒業式はなくなるが、振り返りと希望を持たせる工夫を。	義務教育学校では、学年区分として、基本の 6-3 制以外にも、5-4 制や 4-3-2 制など柔軟な区分を設定することが可能となっております。当該学校の児童生徒の成長にとって有効な学年区分を検討し、採用してまいります。また、卒業式は後期課程修了時の 9 年生（中学 3 年生）で行いますが、6 年生修了時に節目となるセレモニーを開催するなど、次への一步をしっかりと踏み出せるようにしていきたいと考えております。
1 3	お金がかからず済むのであればそれでいいと思うが、卒業式が 1 回しかできないのは少し不満。	
1 4	学年段階の区切りは市内で同一運用か、各校独自なのか。	学年段階の区切りは、当該義務教育学校で設定いたします。
1 5	2. 現状(4)学校教育制度の改正 地方の義務教育は都市部と比較して劣っている感が否めない。より教育の魅力を高める為にも「4-3-2 制」など積極的に採用するべ	本市の義務教育の特色として、全小中学校の義務教育学校化を掲げました。義務教育学校ならではの新教科の実施など、教育の魅力や質を高める取組を実践してまいります。

	き。	
16	2(4)学校教育制度の改正の項目において、「4-3-2制」とあるが、「3」の途中で受験となり、中高一貫校との繋がりが難しいと考えるが、この点に問題はないか。	「4-3-2制」など、どのような学年の区切りとなっても、6年生修了時には、他の小学校と同じように小学校学習指導要領に示されている内容は履修しております。また、義務教育学校の先進地域では、6年生の前期課程修了式の開催や6年生の出番の確保等により、リーダー性の育成を重視している事例もございます。本市でも、それらを参考にして、6年生として必要な資質・能力の育成に努めてまいります。これらにより、6年生修了後に、県立中学や私立中学に進学しても、問題はありません。
義務教育学校におけるいじめ問題等への対応について		
17	いじめ、不登校に関しては、学校規模との関連性は低いと思われる。佐野市全体としての取り組みが必要と思われる。	いじめ、不登校は、学校の規模に関わらず、どの学校においても、どの児童生徒にも起こり得る問題であるという危機意識を持ち、児童生徒指導に臨んでいます。また、
18	大きな学校になるといじめが心配。いじめがないようしっかり見てほしい。	いじめについては、「佐野市いじめ防止基本方針」を策定し、それを踏まえて各校でも「いじめ防止基本方針」を定め、教育相談やアンケートの実施、児童生徒との信頼関係の構築に努め、いじめの未然防止、早期発見・早期対応に取り組んでいます。また、市教育センターの相談員、スクーリング・サポーター、スクールソーシャルワーカーやアクティブ教室等の関係機関との連携を強化し、児童生徒一人一人の抱える様々な悩みに応じた相談体制の充実も図っています。今後、義務教育学校となった場合は、小中学校の教職員が一つの組織として学校に在籍することになるため、これまで以上に密接に連携した児童生徒指導が可能になります。これらを生かして、いじめや不登校の未然防止、早期発見・早期対応に努めてまいります。
19	いじめなどが多くなりそうで怖い。	
20	人間関係が厳しくなって、いじめが増えそう。	
21	複式学級が悪いとは思わない。統合すればよい点があると説明しているが、問題点もあると思う。クラス替えをしたときにひとりぼっちになってしまう子、いじめられる子もいる。小さな学校の方がいじめは少ないと思われる。統合されてもいじめについてしっかり見てもらいたいと思う。	
22	人数が多くなるので、子どもの心のケアをしっかりしてほしい。一人一人をしっかり見てもらい、職員間でも連携がとれるようにしてほしい。	

複式学級の解消について		
23	(1)複式学級の解消について 複式学級を通して他学年との交流も多く持つことができ、良い刺激となっている。上級生に対する憧れを持ったり、下級生に手本となるように努力している姿もあり、複式の良い面も活かして欲しいと思う。	複式学級のメリット(学習状況が的確に把握でき、きめ細かい指導が可能。一人一人がリーダーを務める機会が多くなる。異年齢の学習活動を組みやすい。施設や教材・教具をゆとりをもって使用できる等)があることも認識しておりますが、こうしたメリットを生み出すのも、当該校の児童生徒の実態、学校の指導方法の工夫、地域や保護者からの支援体制等が関係いたします。
24	複式学級の良さは少人数で授業ができて先生の話もよく聞くことができたこと。友達との仲もよかつたし、悪かったことはない。切磋琢磨したり多様な考えに触れたりする機会が少なくなりやすいと書かれているが、そんなことはなかった。一概には言えないと思う。	その反面、課題(クラス同士が切磋琢磨する教育活動ができない。部活動等の種類の限定。男女比の偏り。集団学習の実施への制約。児童生徒から多様な発言が引き出しにくく、授業展開に制約が生じる。一度人間関係が崩れると修復が困難等)も多く指摘されております。学校や地域・保護者の努力で解決できる課題もありますが、一定数の児童生徒がいないと解決できない課題もございます。児童生徒は、将来、社会の中で多くの人たちと関わり合いながら、生きていきます。早い段階から多くの関わりの中で生活する経験を積ませていくことが重要であると考えております。そのためにも複式学級の解消を前期計画に引き続き、後期計画(案)にも位置付けております。
25	小さな学校は多様性がないように書かれているが、どの子どもを見てのことか。小さな学校から出た子も生徒会役員などで活躍している。	
複式学級になる前の統合の検討について		
26	複式学級を決めたのは行政であるので、それがよくないと言うのであれば、複式にする前に統合を考えればよかったのではないかと思います。	複式学級の解消のための統合の実施は、その時の国や県の動向、社会情勢、市の教育行政の方向性、当該校の保護者や地域の方の考え等様々な状況や観点を総合的に勘案して考えてまいりましたが、複式学級になる前に統合することは、中々難しい状況でございました。。しかし、前期計画の策定以来、船津川小の植野小への統合、あそ野学園義務教育学校、葛生義務教育学校の設置を進めてまいりました。
27	複式学級についての考えがあるの	後期計画(案)についても、目的の一つに

	<p>なら、もっと早く統合を考えればよかったのではないか。</p>	<p>複式学級の解消を掲げておりますが、施設の老朽化への対応、小中一貫教育の推進等の目的も合わせて達成するためには、義務教育学校の設置が望ましいと考えております。</p>
28	<p>3(1)複式学級の解消を目的とし、生徒数の傾向が分かっているのであれば、複式学級が発生する前に統合が必要と思われるが、どのように考えているか。以前の地域説明会では「教育の平等化」と説明していたが、この考えであれば発生する前の統合が必要だと思う。</p>	<p>学校の統合となると、地域の理解を得ることが難しいこともあり、中々進まないことがあります。複式学級の解消のための小学校同士の統合につきましては、地域の方の要望を聞きながら進めていくことも検討してまいりたいと考えております。</p>
<p>学区の割り振りについて</p>		
29	<p>新学校の場所により町会の区分が変わると思う。</p>	<p>後期計画(案)に示した通学区域が義務教育学校の対象となります。</p>
30	<p>若松町(城東)、若松町(城西)町会は、城北小を中心に堀米地区とのつながりが強いが、行政区分は佐野地区となっている。実態を踏まえた学区の割り振りを検討しないと問題が出ると思う。</p>	
<p>通学方法について</p>		
31	<p>通学時の安全対策及び通学時間の短縮について。具体策は。</p>	<p>通学路の通学時間短縮につきましては、通学距離や時間が長くなる(小学生4km、中学生6km、概ね1時間)児童生徒はスクールバスによる対応を検討していく予定であります。安全対策につきましては、通学コースの選定やスクールバスのバス停への通学班の編成、登下校の見守り強化等を保護者や地域の方と連携して取り組んでいきたいと考えております。</p>
32	<p>何校もの学校の合併による通学面の安全性も考えていく必要があると思う。</p>	<p>通学に関する安全確保については、新しい学校に向けて、通学部会を設置し、通学方法等について協議いたします。また、佐野</p>

3 3	3(3)について 学校までの長距離化による弊害を 考える必要がある。通学時間も長 くなり、安心・安全の観点からく る心配を解消することを先に考え てほしい。	市通学路安全対策連絡協議会において、新 しい学校までの通学路における交通安全、 防犯、防災の安全対策について検討し、可 能な安全対策を実施してまいります。
子どもクラブ（放課後児童クラブ）について		
3 4	子どもクラブの適正配置計画も一 緒に作成し、示していただきたい。	働きながら子供を通学させる保護者にと ってこどもクラブの設置や場所等は重要 な問題であると認識しております。公立の こどもクラブにつきましては、多くの児童 が通う場所として、それぞれの小学校の学 区内に整備することとしておりますが、既 に整備済みの施設が活かされるよう検討 を進めてまいります。
3 5	放課後児童クラブについて。シャ ボン玉児童クラブは、飛駒小、下 彦間小、閑馬小から来所する子ど も多い。来年度開校するあそ野 学園義務教育学校から直接来所で きないので、学童についてももっ と整備してほしい。	あそ野学園に対応するこどもクラブにつ きましては、現在4クラブ分を旧田沼庁舎 本館跡地に建設中です。今後の放課後児童 クラブの整備につきましては、現在策定中 の第2期佐野市子ども・子育て支援事業計 画の中で検討してまいります。
閉校後の地域づくりについて		
3 6	少子化のため仕方ないとは思 うが、地域に学校がなくなってしまう のはやはり寂しい。地域の実情 や思いに寄り添って計画を進めて ほしい。	地域における学校の存在意義の大きさは 承知しております。しかしながら、今後の 子供の数の減少と施設の老朽化への対応、 全市的な小中一貫教育の推進等を総合的 に考えたとき、全小中学校の義務教育学校 化がより良い方策であると考えておりま す。新しい学校が各地域にとって新たな核 となるよう、各地域と学校を結ぶ取組（コ ミュニティ・スクールの導入、地域の教育 資源の積極的活用、ふるさと学習の推進 等）を進めてまいります。
3 7	地域の実情などを理解してほし い。地域の学校がなくなってしまう のはさみしく悲しい。一丸とな って地区を盛り上げていきたい。	
3 8	地域の実情や思いに寄り添って計 画を進めてほしい。	
3 9	飛駒地区などは高齢者が多くな る。廃校になった小学校を地域の 意見に寄り添い盛り上げてほし い。	閉校となった施設の跡地利用については、 学校跡地等活用検討委員会において、地 域の意見も踏まえながら決めてまいりたい と考えております。

4 0	施設の老朽化、少子化対策のため、統合は仕方ないと思うが、閉校後の対策を具体的にしてほしい。閉校となる学校の周辺に住んでいる者は不安である。	
4 1	閉校になる学校では、さらに過疎化が進まないよう先に考えてほしい。	第2次佐野市総合計画や第2次国土利用計画佐野市計画、さらには佐野市コンパクトシティ構想等との整合を図りながら、地域の特性を活かした土地利用や地域活性化策を検討し、計画的に進めてまいります。
4 2	現状の中に、今後想定される地域との関係性（働き方改革を受けた学校のあり方、一層の地域協力の必要性）が示されていない。よって、目的の中に(3)の中で自治会活動との一言のみしかなく、本来大切な役割を担う地域と切り離され考えられている点に疑問を感じる。	後期計画（案）は、佐野市立小中学校適正規模・適正配置基本計画（前期計画）の内容をもとに、今後の学校設置の方向性を示したものでございます。基本計画には、「学校はそれぞれの地域の歴史やコミュニティと結び付きを持っていることから、適正配置の実施にあたっては、地域の実情や関わり、様々な問題点などを考慮し、地域住民の十分な理解と協力を求める必要がある。」と示しております。後期計画（案）でもその点は踏襲しております。設置される義務教育学校では、新たな学区となる地域の皆様と連携を深める取組（コミュニティ・スクールの導入等）を実施し、「地域とともにある学校づくり」を推進してまいります。
4 3	前期計画（田沼西地区、葛生・常盤地区）を見つめ、ふまえるべき点、残された廃校についての取り組みの記載がない。学校は学校だけのものではない。後期計画を行う上で、多くの課題を抽出し、しっかり議論をし、慎重に進めることを強く望む。	あそ野学園義務教育学校を実施した上での改善点は、葛生義務教育学校、その後に設置予定の義務教育学校に繋げてまいります。統合により地域の核であった学校が無くなることでの地域の方が抱える不安等については、今後、実施計画を策定していく中で、関係各課と連携し、丁寧に対応したいと考えております。
その他		
4 4	田沼東中学校区の義務教育学校はどこにできるのか。	具体的な設置場所については、これから策定する実施計画の中で具体的に定めていく予定です。

4 5	「あそ野」にルビを振っていただくことはできないか。まだ浸透していないと思う。	本市にとって最初の義務教育学校のため、様々な機会に取り上げられることも増え、一般の方へも校名が浸透していくと考えておりますので、ルビを振る予定はございません。
4 6	義務教育学校という名前は子どもの側からの名前でないように感じるので、変えた方がいいと思う。	本市では先行実施するあそ野学園及び葛生義務教育学校と同じように「義務教育学校」という名称を付け、統一性を持たせていく方向で考えおります。
4 7	使わなくなった校舎等、教材、用具等の使い道について、学校を含め、保育園、幼稚園、介護施設等で使用してもらえよう工夫し、無駄のないようにしてほしい。	閉校となる学校施設については、学校跡地等活用検討委員会において跡地利用の計画を立ててまいります。学校備品については、あそ野学園義務教育学校や市内の小中学校での利用を中心に、無駄のないように活用してまいりたいと考えております。
4 8	幼保小の連携についても、地域ぐるみの交流があるといいと思う。	義務教育学校となった後も、幼保小の連携は重要です。その連携に関する取組の中に、地域の方も入っていただくような機会が設定されれば地域とのつながりも深まることと考えます。実情に合わせた連携を義務教育学校において検討してまいります。
賛成意見		
4 9	複式学級の解消に賛成	後期計画の内容に基づき、計画的に進めてまいりたいと思います。
5 0	複式学級が解消されるのはよいことだと思う。切磋琢磨し、たくさんの友達と触れ合い、たくさんの経験をして充実した生活をしてほしい。	
5 1	施設老朽化への対策として、施設環境を整えるよい機会だと思った。また、複式学級の解消により、集団の中で多様な考えに触れる機会を増やし、子どもたちの更なる可能性を広げられたらよいと思う。	
5 2	小・中学生が一緒になるということは、異年齢での関わりも増えるので、とてもよいと思う。	

5 3	<p>3 適正規模・適正配置基本計画（後期計画）のテーマ（目的）</p> <p>（1）複式学級の解消</p> <p>複式学級の解消について賛成である。運動会など、生徒だけでは成り立たないため、地域の運動会と合同では、生徒たちの競争心がなくなってしまう気がする。</p>	
5 4	<p>いいと思う。あとは実際にやってみて、様子を見て決めればいいと思う。</p>	